

⇒ 大学において学修するための基礎知識 I～Ⅷ

I. 「履修する」ということ ―所属する学科の課程を学習し修めること―

各学科の課程には、必修科目(所属する学科で必ず履修しなければならない科目)とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学習目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学習するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など、自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学習に、主体的に取り組んでください。

II. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間の前学期(15週間)と後学期(15週間)の2学期に分け、学期ごとに、担当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します(※一部科目を除く)。

卒業までには、2学期×4年＝8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして、年度ごとに修正しながら、各学期の担当科目を学習していくことが大事です。

III. 大学の授業科目は単位制 ―学習時間と単位の関係―

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学習時間数と教室以外(授業以外)での学習時間数(予習・復習の時間)の合計で決まります。本学のほとんどの科目が2単位で、2単位を修得するためには、

$$\begin{aligned} \rightarrow \text{授業科目 } 1\text{コマ} &= 2\text{時間}/\text{週}(\text{本学では}90\text{分}) \times 15\text{週間} \\ \text{修得のための予習復習時間} &= 4\text{時間}/\text{週} \times 15\text{週間} \end{aligned}$$

の時間数が必要とされます。

例えば、前学期で22単位(11科目)履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11＝44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。**そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています(※詳細は5ページ「2 履修登録にあたっての注意事項」を参照のこと)。**

IV. カリキュラム(学修体系)の特長 ―いろいろあるのが本学の特長―

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び、難関を突破して入学してきました。大学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして皆さんを、自信を持って社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

◆科目の種類

①【必修科目】

各学科に担当された、学科のめざす専門分野の科目です。必修科目は、必ず履修して、合格の成績評価を受けないと卒業できません。1つでも不合格だと卒業できません。

②【選択必修科目】

各学科に担当された、学科のめざす専門分野の科目で、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

③【選択科目】

各学科に担当された、より高い専門性を修得するための科目です。皆さんの意思で自由に選択できます。

◆学修体系の特長

【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは総合教育科目と外国語科目と専門教育科目の3つに大別されます。

※詳細は「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照のこと。

【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。自分の英語の実力アップを計りながら、『Basic』なレベルの科目から『Advanced』な科目へ挑戦してください。

【教職課程・学術情報課程】

教員免許取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

V. 履修登録する ー選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっているー

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

① 自分の学修体系を決める。

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた学習プランを考えてください。

→ 在学生は、成績表をもとに、自分の学修体系を再確認すること。前年度までの学習計画を再検討するのにも良い機会でもある。さらに方向修正もできる。

② 科目名をチェック ⇒科目名で大体の内容がイメージできる。

- ◇ 自分の学科配当の選択科目
- ◇ 自分の学部の共通配当科目
- ◇ 他の学科、学部の科目

③ Web シラバス(講義要項)で科目の講義内容をチェック。

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。Web シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が載っていますので活用してください。

④ 履修登録前に、履修したい候補の講義を受講する。

シラバスで科目の内容がわかったら、実際の講義に出席して内容をチェックしてください。本当に学びたい科目なのか確認しましょう。履修登録前であれば、自分の興味に応じて自由に授業に出席することができます。※「上位学年の開講科目」を除く。また、「クラス指定がある科目」等、一部の科目を除く。

⑤ さあ、履修登録しましょう。⇒履修登録期間をチェック ※5ページに日程を記載

前学期の授業開始後に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。後学期の科目については、授業に出席せずに登録科目を決めなくてはいけませんが、後学期開始後に履修の変更登録期間を設けていますので、前学期と同様に登録前に授業に出席することができます。**変更登録期間では後学期開講科目の追加・削除・変更が可能です。**

履修登録するための諸注意を、5ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

【重要】：履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。忘れずに、また、間違いのないよう慎重に登録してください。

VI. 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を学科別に記載していますので、参考にしてください(※履修モデルのとおりを受講しないと就職・進学・資格取得ができない、というわけではありません)。

(注意) 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。

当該学科の卒業要件単位(必修・選択必修・選択科目)、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得(受験資格を含む)することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学時に配付した「学生生活ハンドブック」を参照してください。

VII. 学生の皆さんへの注意事項 ー自分のことは自分で、責任を持ってー

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルサイトや掲示板を必ず確認してください。
3. 提出期限は厳格に守ってください。(期限後は受付けません)
4. **電話での問合せは一切受付けません。**
5. 学生教務課窓口の業務時間(時間外は受付けません)
【平日(授業期間)】8:30～17:00

VIII. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示物などの順番も原則として次のように行います。

学 部 名 等	略称名
農学部	農学部
農学科	農学
動物科学科(1年次生)	動物
畜産学科(2～4年次生)	畜産
バイオセラピー学科(2～4年次生)	セラピー
生物資源開発学科	資源
デザイン農学科	デザイン
応用生物科学部	応生学部
バイオサイエンス学科(3・4年次生)	バイオ
農芸化学科(1年次)	化学
生物応用化学科(2～4年次生)	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
生命科学部	生命学部
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物
地域環境科学部	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
国際食料情報学部	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
国際バイオビジネス学科	ビジネス
国際食農科学科	食農
英語による専門教育プログラム	英語専門
全学共通科目	全学共通
教職課程	教職
学術情報課程	学情

平成30年度（2018年度）年間授業計画

月	日（曜日）	行事予定
4	2（月） 3（火）～ 6（金） 9（月）	入学式 新入生各学科ガイダンス、新入生健康診断 在学生ガイダンス、在学生健康診断 新入生オリエンテーション 前学期授業開始（7/26まで）
5	18（金）	大学の記念日【授業日】
6	2（土） 16（土）	教育懇談会 東京農大ホームカミングデー
7	16（月） 21（土）・22（日） 24（火） 25（水） 27（金）	海の日【授業日】 教育後援会地方懇談会 【休講日】 金曜日の授業実施
8	2（木） 3（金） 4（土）・5（日）	前学期定期試験 オープンキャンパス 夏季休業 夏季集中授業
9	上旬 19（水） 20（木） 21（金）	前学期定期試験の評価開示 編入学試験 後学期授業開始（1/28まで）
10	8（月）	体育の日【授業日】
11	1（木） 6（火） 10（土） 17（土）・18（日）	収穫祭の実施に伴う休講期間 前夜祭 11/2, 収穫祭 11/3～4 体育祭 11/5, 後片付け 11/6 大学入学共通テスト（プレテスト） 推薦入試
12	1（土） 24（月） 26（水）	優先入試 天皇誕生日の振替休日【授業日】 冬季休業
1	4（金） 7（月） 18（金） 19（土）・20（日） 22（火） 23（水） 28（月） 29（火） 31（木）	後学期授業再開 センター試験準備日【休講日】 センター試験日 【休講日】 金曜日の授業実施 卒業論文題目届の提出期限（3年次生） 卒業論文の提出期限（卒業年次生）
2	4（月） 6（水）～ 8（金） 中旬 27（水）	後学期定期試験 一般入試A日程 後学期定期試験の評価開示 一般入試B日程
3	6（水） 8（金） 21（木）	学校法人の創立記念日 卒業確定者及び進級確定者の発表 学位記授与式

1 履修登録日程

	新入生	2年生	3～4年生	編入・学士編入学生 転学部・転学科生
4月2日(月)	入学式			
4月3日(火)	学科別ガイダンス時に履修のてびき等配付(各学科指定教室)	英語クラス分けテスト終了後履修のてびき等配付	4月3日以降研究室等で配付	編入・学士編入学生履修説明 10:00～ 1306教室 転学部・転学科履修説明 10:00～ 1306教室
4月9日(月)～	前学期授業開始			
4月16日(月)～ 4月20日(金)	前学期履修登録期間(学生ポータルサイトから) ※4月20日は午後5時で終了			
4月27日(金) 夕方	履修登録開示日(学生ポータルサイトにて開示)各自登録内容を確認する。			
5月7日(月)～ 5月9日(水)	前学期履修修正期間(学生ポータルサイトから) ※5月9日は午後5時で終了			
5月16日(水) 夕方	履修修正登録開示日(学生ポータルサイトにて開示)各自登録内容を確認する。			
9月21日(金)～	後学期授業開始 ※後学期履修変更期間については7月下旬に掲示			

※復学・原級・留年の学生は窓口にて履修登録の指示を受けること。

※教職・学術情報課程の履修については13ページ・14ページ参照のこと。

2 履修登録にあたっての注意事項

履修は必ず全員が登録し、登録内容を確認すること(休学者を除く)。

※ 必修科目(当該学年の必修科目)のみ履修する場合でも必ず確認すること。

(1) 履修登録の手順

- ① 用意するもの: 学生生活ハンドブック・履修のてびき(時間割)・シラバス
※ 授業の内容については Web シラバスを参照のこと。
- ② 履修のてびき28ページから記載の学科・学年別時間割を開く。
- ③ 履修のてびき14ページの必修科目自動登録単位数一覧表で自動登録されている科目数を確認する。
- ④ 履修希望科目の履修番号を開講の曜日時限に登録する(15ページの履修登録の入力方法を参照)。
- ⑤ 登録した科目・クラス等は、最終確認のため必ず印刷すること。

(2) 履修登録上の注意事項

- ① 履修番号の登録を間違えると、エラーまたは全く別の科目が登録されるので注意すること。
- ② 在籍学年の必修科目(コース別必修科目を含む)は自動登録されているので登録する必要はない。万が一自動登録科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目の履修番号をその時間帯に登録すること。**※復学・原級・再入学・転学部・転学科・編入学及び過去に休学した者は、卒業まで自動登録としないので、各自で履修番号を登録すること。**
- ③ 次のとおり学期ごと及び1年間に履修できる単位数は制限されている。これをキャップ制という。制限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除すること。削除しない場合は、超えた単位数分の科目が自動削除されるので注意すること。

学期ごとに22単位まで・年間44単位まで(キャップ制)

※ リメディアル科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とする。

- ④ 同時限に開講している科目は、いずれかを選んで履修番号を登録すること。
- ⑤ 同一時限に隔週で開講する科目を履修する場合は、同一時限に登録すること。
- ⑥ 在学年次のクラス分けのある科目は、クラス分け表に基づき、各自のクラスの履修番号を登録すること。
- ⑦ 低学年次のクラス分けのある科目は、クラスを選んで履修番号を登録すること(一部を除く)。
- ⑧ 2時限以上続けて開講する科目は、授業開始時限のみ履修番号を登録すること。
- ⑨ 集中授業科目は、開講学期にあわせて時間割外科目登録欄に履修番号を登録すること。
- ⑩ 通年科目は、前学期授業開始時限のみ履修番号を登録すること。
- ⑪ 高学年次配当科目は履修できない(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ⑫ いかなる理由があっても前学期開講科目(通年・前期集中科目含む)は、後学期履修変更登録期間には削除できない。

履修登録単位数制限(キャップ制)の計算方法

- ・ 前学期開講科目は前学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 後学期開講科目は後学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 1年間開講する科目(特別講義など通年科目)は、単位数を2分し、各学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 集中開講科目(時間割外科目)は、年間の単位数としてカウントする。

【計算例】

前学期科目 20単位を登録…A	前学期 : $A + C / 2 = 21$ 単位
後学期科目 18単位を登録…B	後学期 : $B + C / 2 = 19$ 単位
通年科目 2単位を登録…C	年間 : $(A + C / 2) + (B + C / 2) + D = 44$ 単位
集中科目 4単位を登録…D	

履修に関する重要事項

履修登録に関する情報は、学生ポータルサイトを通じて行う。また、学期ごとの成績開示もすべての学科・学年において学生ポータルサイトを通じて行う。
 普段から学生ポータルサイトを確認する習慣をつけること。

3 履修登録上、特に注意を要する授業科目

(1) 英語科目

英語(一)～(四)については、4月3日に行うクラス分け試験により履修クラスを決定する。再履修者も必ず受験すること。この試験を受験しないと、いかなる理由があっても当該年度の英語を履修することができない。

(後学期開講科目も同様) **クラス変更は認められない。**

※ 外国語科目の基盤英語科目・実用英語科目については、他学科・他学部聴講は認められない。

(2) 共通演習・基礎演習・農学原論・農業実習(一)・(二)

農学部全体でクラス分けを行う。詳細については4月13日に行われる説明会および配布資料参照のこと

(3) スポーツ・レクリエーション(一)・(二)

履修人数に定員を定めており、**次の日程でクラス分けを行うので、履修希望者は必ず出席すること。**

第1回目の授業(体育館集合、上履き持参)

なお、定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行う。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できる。

※ 2年次以上の学生はどの学科のクラスでも履修することができる。この場合は必ず第1回目の授業に出席すること。

(4) リメディアル教育科目

リメディアル教育科目は、1年次に開講する。年度当初に受講対象者を決定し、対象学生は指定の授業に必ず出席しなければならない。他学部・他学科の同名科目は履修できない。**同名科目は卒業要件単位には含まれないので、注意すること。**

(5) クラス分けのある授業科目

- ① クラス分けは、所属学科の在学年次の開講科目のみに適用される(一部を除く)。クラス分けのある科目は、**クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認すること。**
- ② 学科指定のある科目は、自分の学科で履修すること。ただし低学年次配当科目については、クラスを選んで履修することができる(一部を除く)。
- ③ 外国語科目・専門教育科目の学科基礎科目の時間割に、A・B・C…でクラス分けがある場合は、クラスを選択できる。ただし、指定がある場合があるので、ガイダンス等の指示に従うこと。
- ④ 教職・学術情報課程の時間割に、A・Bでクラス分けがある場合は、クラスを選んで履修すること。

(6) 他学科・他学部聴講

- ① 他学科・他学部聴講を希望する場合は、各学科の時間割(※世田谷キャンパスの時間割は、学生ポータル掲載)を参照し、希望科目の履修番号を登録すること。クラス分けがある科目については、クラスを選んで登録すること。
- ② 他学科・他学部聴講は、高学年次配当科目を履修できない。
- ③ 他学科・他学部の履修登録単位の上限は、在学中合計30単位である。
※ 合否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされる。
- ④ 次の科目については他学科・他学部聴講の対象外とする。
 - 実験・実習・演習(研修を含む)科目(開発「海外農業実習(一)(二)(三)」を除く)
 - 各学部の総合教育科目(スポーツ関係科目を除く)、外国語科目(初修外国語科目を除く)
 - 一部の学部または学科開講科目

応生「現代の環境問題」	醸造「発酵食品化学」「飲酒生理学」
地域「文学概論」哲学	健康「リスクマネジメント論」
国際「栽培学入門」	栄養「栄養士関係科目及び管理栄養士関係科目」
森林「森林文化論」「きのこ学」(ただし、工学・造園・創成は他学科聴講可)	
工学「作物栽培学」「数学」「応用数学」	

(7) その他、各学部の特有用科目

- ① 初修外国語関係科目「中国語・スペイン語」を履修する場合は、いずれかを選択して履修すること(複数の語学を選択することはできない)。
※過去に合否に関わらずどちらかの科目を履修している場合、もう一方の科目を履修することはできない。
- ④ 【共通】前学期に履修登録した科目について、単位を修得できなかった場合、後学期に同名科目を再度履修することはできない。

(8) 同名科目

次の表は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧である。以下の点に注意すること。

- ① **所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学科・他学部聴講できない。**

【例】: 生物資源開発学科の学生は、農学科の「昆虫学」を履修できない。

→生物資源開発学科は2年次に「昆虫学」の開講があるため。

- ② 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修はできない。

科目名	学部	学科	学年
中国語(一)	農学部	学部共通	2
	応生学部	学部共通	1
	生命学部	学部共通	1
	地域学部	学部共通	1
	国際学部	学部共通	1
中国語(二)	農学部	学部共通	2
	応生学部	学部共通	1
	生命学部	学部共通	1
	地域学部	学部共通	1
	国際学部	学部共通	1

科目名	学部	学科	学年
スペイン語(一)	農学部	学部共通	2
	応生学部	学部共通	1
	生命学部	学部共通	1
	国際学部	学部共通	1
	農学部	学部共通	2
スペイン語(二)	応生学部	学部共通	1
	生命学部	学部共通	1
	国際学部	学部共通	1

科目名	学部	学科	学年
化学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
科学と哲学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
環境科学	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
心理学概論	農学部	全学科	1
経済入門	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	1
芸術	農学部	全学科	2
現代社会の諸問題	農学部	全学科	2
国際関係を考える	農学部	全学科	2
数学	農学部	全学科	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	微生物	1
	地域学部	工学	1
	国際学部	全学科	1
生物学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
生命科学	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
生命倫理	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
地学	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
国際学部	全学科	2	
動植物園論	農学部	全学科	3
日本国憲法	農学部	全学科	2
	応生学部	全学科	2
	生命学部	全学科	2
	地域学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
農学原論	農学部	全学科	1
農業インターンシップ(一)	農学部	全学科	1
農業インターンシップ(二)	農学部	全学科	1
物理学	農学部	全学科	1
	応生学部	全学科	1
	生命学部	全学科	1
	地域学部	全学科	1
	国際学部	全学科	1
文化人類学	農学部	全学科	2
	国際学部	全学科	1
機器分析学	農学部	資源	3
	応生学部	健康	3
	生命学部	生化	3
	生命学部	微生物	3
昆虫学	農学部	農学	1
	農学部	資源	2
自然再生技術論	農学部	全学科	3
実験計画法	農学部	農学	3
	農学部	デザイン	2

科目名	学部	学科	学年
実験動物学	農学部	動物	1
	生命学部	バイオ	3
植物育種学	農学部	農学	2
	農学部	資源	4
	国際学部	食農	3
	農学部	全学科	2
植物栄養学	農学部	全学科	2
植物生長調節論	農学部	全学科	3
植物生理生態学	農学部	全学科	2
植物病理学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	3
	生命学部	微生物	2
植物防疫論	農学部	農学	3
	農学部	資源	3
	農学部	デザイン	3
	農学部	全学科	3
食品衛生学	農学部	動物	3
	応生学部	化学	3
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	2
	生命学部	バイオ	3
	国際学部	食農	2
食品化学	農学部	デザイン	2
	応生学部	醸造	3
	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	2
食品機能学	農学部	デザイン	3
	応生学部	醸造	3
	応生学部	健康	2
	応生学部	栄養	3
	国際学部	食農	3
食品微生物学	農学部	動物	2
	農学部	デザイン	3
	応生学部	醸造	1
生化学	農学部	全学科	2
	応生学部	健康	1
	生命学部	バイオ	1
	生命学部	生化	3
生物統計学	農学部	動物	2
	応生学部	健康	3
	生命学部	全学科	1
知的財産概論	農学部	全学科	3
	応生学部	全学科	3
	生命学部	バイオ	3
土壌学	農学部	農学	1
	農学部	資源	1
	応生学部	化学	2
動物解剖学	農学部	動物	2
	農学部	資源	2
	農学部	デザイン	2
動物管理学	農学部	動物	1
	農学部	資源	1
	農学部	デザイン	1
農業気象学	農学部	全学科	2
農業経営学	農学部	全学科	2,3
	国際学部	開発	2
	国際学部	経済	2
	国際学部	食農	3
農産物マーケティング論	農学部	全学科	3
分子生物学	農学部	全学科	3
	応生学部	化学	2
応生学部	健康	2	

4 英語による専門教育プログラムの履修登録

Courses Offered by Special Program (Conducted in English) :

「Agriculture, Food and Environment」

◎ 「英語による専門教育プログラム」受講の勧め

日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本およびほかのアジア諸国における食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、2002年度から開講しているものです。英語での授業を通じて、日本人の学生にとっては、自分の専門分野を英語で習得するよい機会となってそれが留学プログラムを立案したり、International Studiesをより深く理解することに役立ち、また留学生にとっては日本語の授業で十分理解しえない部分を習得できる絶好の機会となります。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強く勧めます。

(1) Program Title:

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

(2) Rationale

An integrated approach is important for the solution of problems of mankind in such areas as food, environment, health, resources and energy, which are all mutually related and interwoven. The food problem generally refers to problems of food production, distribution and consumption, thus covering a wide range of topics. For instance, food production is closely related not only to natural environment but also agricultural and food processing technologies. Distribution of food is determined by political and economic mechanisms, while improved storage and distribution technologies have tremendously contributed to the widening scope of marketing. Food consumption is highly related to the level of income but culture, social norms and dietary habits are other key determinants of what and how people consume food.

Modern agricultural science has greatly contributed to increased food production, which has expanded beyond global population growth. However, problems of environmental destruction and unassured food safety have also emerged. The urgent need to assure environmental conservation and safe food supply are now globally recognized. At Tokyo University of Agriculture, a multidisciplinary, all-university-education program is now being offered for the study of food and environment. Integrated learning of agriculture, food and environmental issues guides students to see how they can make a contribution to solving global issues in the 21st century.

This program provides the opportunity for Japanese students as well as international students to gain holistic understanding on issues of food, agriculture and environment in Japan and other Asian countries.

(3) Time Table (in 2018)

This program was established in April 2002 (not listed in the 2002 course catalogue). The courses are offered to all students in 2018. It is our advice that you select courses according to your English ability.

【First semester】

Comparative Nature Study from Cultural Perspective

Environment and Agriculture

Food and Environment in Economic Development

Food and Health 1

Forest and Forestry

Global Food Systems
Japanese Agricultural Development
Life history and Applications of Landscape Plants
Planning and Design of Landscape Architecture
Vegetable Production Technologies for International Cooperation
Field Study of Food and Environment(intensive)
Sustainable Agriculture in Asia(intensive)
Introduction to Bioindustry

【Second semester】

Agricultural Scientific English for International Cooperation
Agricultural Trade
Agro-Environmental Engineering
Comparative Developing Agriculture
Comparative Food Production Technologies
Ecology and Agricultural Production
Ecology and Food Production
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency
Food and Health 2
Farmers and Consumers in Japan(intensive)
Group Approach to Food and Environment(intensive)
Molecular Biology and Biotechnology
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population

(4) Credits

Each course carries two credits. Credits earned in this program can be counted for graduation requirements, to a maximum of 30 credits under the inter-faculty enrollment system, as specified in Article 15 (3) in the TUA Constitution.

(5) Examination and Grade

Examinations are conducted during the lecture period. Students are requested to follow the instruction of the lecturers. Since supplementary examinations will not be provided, unsuccessful students are required to re-enroll in the following years.

(6) Fees Required

No additional payment is required. However, as fieldtrips and experiments are needed, the students enrolled in Environment and Landscape of Japan, Environment Conservation in Asia, Field Study of Food and Environment, Group Approach to Food and Environment, and Sustainable Agriculture in Asia are required to cover their own expenses. Details will be given in the class.

(7) You may sit-in under this program

For those students who are interested in the program but are unsure of their English competency, auditing is allowed upon permission from the lecturer. No registration is required in this case, but students can make a formal registration after gaining confidence.

H30年度 英語による専門教育プログラムガイドライン一覧

科目名	開講するキャンパス	適正なクラスサイズ(履修人数)	主な履修対象者(日本人学生、外国人留学生、visiting student、協力隊希望者)	履修者に求められる英語能力(TOEFLスコア点数等、英語力初級・中級・上級)	科目内容の難易度(初級、中級、上級)	履修者に求められる専門性	科目内容の難易度(初級、中級、上級)	海外留学を目指す学生への推奨科目(該当の場合○)
Comparative Nature Study from Cultural Perspective	世田谷	15人	全学生	自分の考えを述べようとする気持ち(中級)	中級	自然と文化の相関性に興味がある	ディスカッション(英語)円滑に行うため	—
Environment and Agriculture	世田谷	20人	全学生	中級以上	初級	問わない	専門用語(日本語)の解説以外は日本語を使用しないので、一定以上の英語力が必要とする	○
Food and Environment in Economic Development	世田谷	10人～20人	日本人学生、外国人留学生、visiting student、協力隊希望者	中級	中級	問わない	無し	○
Food and Health 1	世田谷	5～20人	外国人留学生 日本人学生	無し	中級	問わない	無し	—
Forest and Forestry, Environment Conservation in Asia	世田谷	20人	全学生	英語能力よりも学ぼうとする姿勢を重視	森林に関連する初級内容	問わない	無し	○
Global Food Systems	世田谷	20人	全学生	中学生程度の英語力	一般常識と知的な好奇心があれば問題ない	一般常識と知的な好奇心があれば問題ない	無し	—
Japanese Agricultural development	世田谷	15人	全学生	初級～中級	初級～中級	日本の農業や食品産業に関する基礎的な知識があるとよい	無し	○
Life history and application of Landscape plants	世田谷	5～10人、10人以上でも対応可能	全学生	無し	初級	若干(植物学)である	無し	—
Planning and Design of Landscape Architecture	世田谷	10～15人	外国人留学生、visiting student	初級～中級	初級・中級	日本の自然環境や文化への興味がある	現地視察を実施するため、大人数の引率は困難である	—
Vegetable production technologies for International Cooperation	世田谷	20人	全学生	中級以上	中級	Agronomy、栽培学である	無し	○
Field Study of Food and Environment※	世田谷	15人	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級～上級	中級～上級	日本を含むアジアの農業、農業経済、アグロエコロジーに興味を持つものとする	専門的な教育を英語で施すため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする	○
Sustainable Agriculture in Asia※	世田谷	15人	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級～上級	中級～上級	日本を含むアジアの農業、農業経済、アグロエコロジーに興味を持つものとする	専門的な教育を英語で施すため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする	○
Introduction to Bioindustry	オホーツク	20人	日本人学生、外国人留学生、visiting student、協力隊希望者	中級～上級	初級～中級	自然科学一般である	無し	○
Agricultural Scientific English for International Cooperation	世田谷	20人	visiting student、協力隊希望者	無し	中級	問わない	無し	—
Agricultural Trade	世田谷	20人	全学生	中学生程度	一般常識と知的な好奇心があれば問題ないと思われる。	一般常識と知的な好奇心があれば問題ない	ゼミ形式のため、日本人学生については3で述べた理由からもう少し多い方が望ましいが、4で述べた理由からおのずと限られる	○
Agro-Environmental Engineering	世田谷	20人	全学生	中級以上	初級	問わない	専門用語(日本語)の解説以外は日本語を使用しないので、履修者は一定以上の英語力が必要とする	○
Comparative Developing Agriculture(CDA)	世田谷	15人	全学生	特になし	初級	問わない	無し	—
Comparative Food Production Technologies	世田谷	20人	外国人留学生、visiting student、日本人学生	英語力中級～上級	中級～上級	作物学、遺伝・育種学、害虫学、環境科学、森林生態学である	無し	—
Ecology and Agricultural Production	厚木	20人	全学生	中級以上	中級	学部2年時までの必修専門科目の単位をすべて修得していること	専門的な教育を英語で施すため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする	—
Ecology and Food Production	世田谷	10人	全学生	英語の専門テキストが無理なく理解でき、英語でディスカッションできるレベル	中級	問わない	無し	○
Food and Health 2	世田谷	20人	日本人学生、外国人留学生、visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を理解できること	無し	○
Farmers and consumers in Japan Japan	世田谷	10人	visiting student	学ぶ意欲を重視	初級～中級	問わない	フィールドトリップのための適正規模とする	—
Group Approach to Food and Environment	世田谷	30名	日本人学生、外国人留学生	上級	中級～上級	海外協定校の学生と英語でのディスカッションを行うための英語力と論理力を身につけることとする	ISSに議長として参加できることが条件である	○
Molecular Biology and Biotechnology	世田谷	制限なし	全学生	初級	学部3年生対象(visiting studentは制限なし)	基礎的な生物学の知識を有すること	無し	○
Eastern Hokkaido	オホーツク	12人	日本人学生、外国人留学生	中級以上	中級以上	問わない	英語能力が中級以上ではないと、ディスカッションなどに参加しにくくなる	○
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency	世田谷	15人	全学生	自分の考えを述べようとする気持ち(中級)	中級	自然と文化の相関性に興味がある	ディスカッション(英語)円滑に行うため	—

5 特別講義の履修登録について

農学部(厚木キャンパス)の「特別講義」履修登録について

農学部の「特別講義」を履修する場合は、次の注意事項にしたがい履修登録してください。

- ①「特別講義」は厚木キャンパスで1コース、世田谷キャンパスで複数コースを開講します。在学中4コースまで履修し単位を修得することができます。(特別講義(一)・特別講義(二)・特別講義(三)・特別講義(四))
- ②開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。
- ③農学部(厚木キャンパス)の「特別講義」を履修する場合は、下表にもとづきWeb履修登録をしてください。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を履修登録してください。

前年度までに特別講義の単位を修得し、今年度も履修する場合は順次(二)・(三)・(四)を履修登録してください。

学期	曜日	時限	履修番号	科目名	履修単位	評価責任者	教室
前学期	水曜日	5~6	A1048	特別講義(一)	2	小川 博	厚木キャンパス 講義棟 トリニティホール
			A1049	特別講義(二)			
			A1050	特別講義(三)			
			A1051	特別講義(四)			

※前年度までに特別講義(一)の単位を修得し、今年度も履修する場合は、特別講義(二)を履修登録してください。

平成30(2018)年度 農学部特別講義開講日程

No.	開講日	講義テーマ	講師	
1	4月11日	細胞内共生がもたらした生物界の多様性について	谷藤 吾朗	国立科学博物館 動物研究部 研究員
2	4月18日	植物検疫について	君島 悦夫	一般社団法人全国植物検疫協会 事務局長
3	4月25日	「競走馬の科学」～ゲノム科学と遺伝学からサラブレッド種を考える～	戸崎 晃明	競走馬理化学研究所遺伝子分析部 専門役
4	5月2日	「農業を軸として地域に根ざした協同組合～地域で信頼され愛されるJAを目指して」	大矢 和人	厚木市農業協同組合 指導販売部長
5	5月9日	“生活者の求める農産物とバリューチェーン”(アグリビジネスとは)	藤井 滋生	(株)アグリインキュベーター 代表取締役社長
6	5月23日	果樹産地の戦略 サクランボとウメ	山口 正己	元東京農業大学農学部農学科 教授
7	5月30日	日本最大の淡水魚イトウから見た森里川海のつながり	福島 路生	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
8	6月6日	ガーデニングの魅力	平工 詠子	GARDENER-詠- 代表
9	6月13日	科博の研究員としての仕事と、植物の多様性に関する研究について	村井 良徳	国立科学博物館 植物研究部 研究員
10	6月20日	6次化のさらに先を見据えたこれからの都市近郊酪農経営	石田 陽一	有限会社 石田牧場 代表取締役
11	6月27日	東洋医学と薬食同源(仮)	谷口 ももよ	一般社団法人東洋美食薬膳協会 代表理事
12	7月4日	太るだけが豚じゃない一豚の育種と多様な利用方法	古川 力	元東京農業大学農学部畜産学科 教授

- ④農学部学生で世田谷キャンパス開講の「特別講義」を履修する場合

- (1)履修希望者は学生ポータルで世田谷キャンパスの時間割等を参照し、当該学期の履修登録期間中にWeb履修登録をしてください。
- (2)各コースの開講日程・教室等は時間割表・シラバス等で確認のうえ授業に出席してください。

6 教職課程の履修登録について

(1) 履修登録までのスケジュール(厚木キャンパスの学生対象)

次のとおりガイダンスを実施するので、**履修希望者は必ず出席すること。**

※①②③については、それぞれ都合のよい日に出席すること。

① 1年次生の受講希望者に対するガイダンス

4月11日(水) 12:20~12:50	} 1202教室
18:00~18:30	
4月12日(木) 12:20~12:50	

② 教職履修ガイダンス、申込について

6月18日(月) 12:20~12:50	} 1202教室
6月19日(火) 18:00~18:30	

履修希望者は、ガイダンス後申込書を6月28日(木)17:00までに提出すること。

提出先:学生教務課

③ 受講料振り込み用紙配布 ※いずれか都合のよい日に出席

7月4日(水) 12:20~12:50	} 1202教室
7月5日(木) 18:00~18:30	

④ 受講料振り込み期間

7月23日(月)~7月27日(金)

(2) 履修登録注意事項

- ① 学部・学科開設科目で取得を希望する免許教科の「教科に関する科目」は、1年次から履修すること。「教科に関する科目」に該当する科目は「学生生活ハンドブック」の授業科目配当表で確認すること。
- ② 教育実習派遣条件を満たすため、「スポーツ・レクリエーション(一)(二)」「日本国憲法」を3年次までに修得すること。
- ③ 教職課程が開講する科目は1年次後学期から履修することができる。
- ④ 教職課程履修に関しては次の受講料が必要となる。

1免許教科	120,000円
2免許教科	140,000円
3免許教科	160,000円
4免許教科	180,000円

※中学・高校理科は1免許教科として扱う。納金した受講料は返金しない。
- ⑤ 教職科目は教職科目時間割表で開講科目を確認し、必修科目であっても履修登録すること(教職科目は**自動登録にはならない**)。
- ⑥ 複数開講している講義科目は受講する日時を選択し、履修登録すること(学科指定開講科目を除く)。
※世田谷・厚木両キャンパスで開講している講義科目は、学科指定のある科目を除き履修することができる。
- ⑦ 実験科目は受講学科を定めて開講しているので、確認のうえ履修登録すること。

7 学術情報課程の履修登録について

(1) 学部1年次生の履修申請

① 受講希望者に対するガイダンス履修説明会の実施

※ 世田谷・厚木キャンパスどちらのガイダンスに出席しても可。いずれか都合のよい日に出席すること。

【世田谷キャンパス】	11月 8日 (木)	12:20~12:50	332教室
	11月16日 (金)	12:20~12:50	342教室
【厚木キャンパス】	11月13日 (火)	12:20~12:50	} 1202教室
	11月20日 (火)	12:20~12:50	

② 受講料

学芸員資格(単修)	130,000円
司書資格(単修)	130,000円
学芸員・司書資格(併修)	180,000円

③ 履修許可者発表

平成31年1月(詳細は履修説明会で説明)

④ 申込先

世田谷キャンパス:教職学情課
厚木キャンパス:学生教務課

8 全学共通科目「日本語」の履修登録

この科目は、外国人留学生及び帰国子女を対象として開講する授業科目である。**修得した単位は、卒業要件として他学科履修・他学部履修・英語による専門教育プログラムと合わせて30単位まで含めることができる。**

9 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録

※学生教務課窓口で確認のこと。

10 必修科目自動登録単位数一覧表

学科名	学期	1年次
農学	前学期	20/22
	後学期	16/22
	年間	36/44
動物	前学期	20/22
	後学期	14/22
	年間	34/44
資源	前学期	14/22
	後学期	10/22
	年間	24/44
デザイン	前学期	12/22
	後学期	12/22
	年間	24/44

○この表は自動登録してある必修科目の単位数を表示している。

○この単位数を確認し履修登録単位数制限以内で履修登録を行うこと。

○次の学生は自動登録されないので、必修科目についても履修番号を登録すること。

復学・原級・再入学・編入学・学士編入学・転学部・転学科および過去に休学した者。

11 履修登録の入力方法

履修登録は学生ポータルサイトの照会「履修登録(修正)」からできます。登録方法は以下のとおりです。

(1) 学生ポータルを開き「履修登録・修正」をクリックします。

「教務情報」タブを選択
「履修登録(修正)」をクリック

【注】住所確認(または変更)を行っていない学生は、Web 履修システムを利用することができません。

(2) 履修登録画面が表示されます。

初期表示は現在の年度・学期の登録画面であり、登録されている開講科目が表示されています。

①他所属講義アイコン
コマに他所属講義がある場合、他所属を表す画像[他]が表示されます。

②再履修科目アイコン
コマに再履修科目がある場合、再履修を表す画像[再履修]が表示されます。

③履修単位
学期、年間、累積(他所属のみ)の履修単位数が確認できます。学期、年間は制限単位数(黒字)と、履修中の単位の和(赤字)を表示します。累積は制限単位数(黒字)と、今まで履修してきた単位+登録中の単位の和(赤字)を表示します。更にカッコ内に前の学期までの数が表示されます。

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後期中	S8098	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二


	前学期	後学期	年間	累積
上限	25	25	49	-
下限	-	-	-	-
上限	0	2	2	10

※他所属他大学、他学部、他学科
入力内容を確認する


※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

(3) 履修登録を追加します。

新しく履修登録を追加(履修を申請)する方法について

①-1. 時間割表にある新規追加アイコン([]アイコン)をクリックします。

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S0517 花卉栽培論 201357の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新力/ 205503の氏名(職)	
2時限		S8179 生物物理化学(旧 力) 201628の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新力/ 205503の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 191547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)		

[]アイコンをクリック

①-2. 開講科目選択画面が表示されます。

所属学部学科開講科目と全学開講科目が表示されます。

選択	開講番号	必要種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input type="checkbox"/>	O3154		TCEIC英語(二) 生 B 新力/	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	須田 誠			
<input type="checkbox"/>	O3322		TCEIC英語(二) ア B 新力/	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	朝田 正可			
<input type="checkbox"/>	O3321		TCEIC英語(二) 英 B 新力/	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	関山 慶			
<input type="checkbox"/>	O3471		TCEIC英語(二) 産 B 新力/	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	高田 育江			
<input type="checkbox"/>	O5362		TCEIC英語(二) ア B 視力/	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	宮坂 里奈			
<input type="checkbox"/>	S0540	必	英語(四) 必 A 旧2 A	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	根本 悠太			

「開講番号(履修番号)」「開講科目名・担当教員 等の情報を確認する。表示されている開講科目から選択し [登録する] をクリックします。

②-1. 開講科目を検索して登録します。

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S0517 花卉栽培論 201357の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新力/ 205503の氏名(職)	

[開講科目検索] をクリックします。

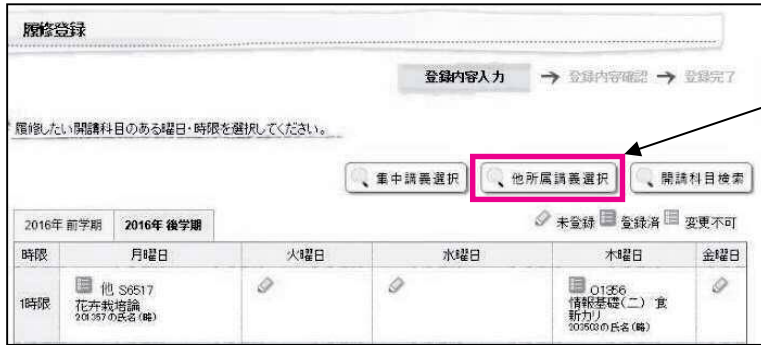
②-2. 検索画面が表示されます。

検索条件	検索結果
曜日	
時限	
開講番号	(80%一致)
開講科目名	(部分一致)
分野系列	
担当教員	(部分一致)

「開講番号」で検索する場合の注意

- 履修番号4桁の数字の前に、必ず英字をつけてください。
- 世田谷キャンパスの講義:「S****」
- 厚木キャンパスの講義:「A****」
- オホーツクキャンパスの講義:「O****」

③-1. 他所属講義を登録します。



[他所属講義選択]をクリックします。

③-2. 他所属講義選択画面が表示されます。



表示されている開講科目を選択し、
[登録する]をクリックします。

※他所属講義科目を追加
表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、[開講科目を追加する]をクリックすると登録できます。

④-1. 集中講義を登録します。



[集中講義選択]をクリックします。

④-2. 集中講義選択画面が表示されます。



「開講番号(履修番号)」「開講科目名・担当教員 等の情報を確認します。
表示されている開講科目から選択し
[登録する]をクリックします。

(4) 履修を削除することができます。

2016年 前学期		2016年 後学期			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S8517 花卉栽培論 20157の氏名(轉)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(轉)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カリ】 201630の氏名(轉)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(轉)	
3時限	S8258 共通演習 101547の氏名(轉) 他		再履修 有料履修 S1518 英語(四) 201067の氏名(轉)		

既存の登録科目名をクリックすると、削除画面へ遷移します。

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

(5) 登録内容が反映された状態で履修登録画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期		2016年 後学期			
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S8517 花卉栽培論 20157の氏名(轉)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(轉)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カリ】 201630の氏名(轉)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(轉)	
3時限	S8258 共通演習 101547の氏名(轉) 他		再履修 有料履修 S1518 英語(四) 201067の氏名(轉)		
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 20215の氏名(轉)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後期中	S8088	インターナショナルスタディーズ(二)	村西 雄二

上限	履修単位	前学期		後学期		年間		累積
		25	5	25	11	49	16	
下限		-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10

※他所属:他大学、他学部、他学科

入力内容を確認する

前述(3)~(4)の手順を繰り返し、登録したい開講科目をすべて選択し終えたら、[入力内容を確認する]をクリックします。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

※この時点では、まだ履修登録は完了していません。

(6) 履修登録内容確認画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

← 入力画面へ戻る

履修内容を確認してください。

→ 連続卒業見込判定結果を表示する

2016年 前学期	2016年 後学期	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限 他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(他)				O1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 201503の氏名(他)	
		S8179 生物物理化学【日 カリ】 201558の氏名(他)		O1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 201503の氏名(他)	
	S6203 共通演習 101547の氏名(他) 他		再履修 有料履修 S1518 英語(四) 201007の氏名(他)		
	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 20215の氏名(他)				
2時限					
3時限					
4時限					
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8068	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期	後学期	年間	累積			
上限	履修単位	25	5	25	13	49	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10
								6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

← 入力画面へ戻る

→ この内容を登録する

内容を確認のうえ、問題なければ
[この内容を登録する]をクリックします。

※履修単位の上限については、
カリキュラム・学科によって異なります。

(7) 履修登録完了画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

以下の内容を登録しました。

プレビューを確認して下さい

→ 印刷する

2016年 前学期	2016年 後学期	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限 他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(他)				O1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 201503の氏名(他)	
		S8179 生物物理化学【日 カリ】 201558の氏名(他)		O1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 201503の氏名(他)	
	S6203 共通演習 101547の氏名(他) 他		再履修 有料履修 S1518 英語(四) 201007の氏名(他)		
	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 20215の氏名(他)				
2時限					
3時限					
4時限					
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8068	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期	後学期	年間	累積			
上限	履修単位	25	5	25	13	49	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10
								6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

登録番号: 103

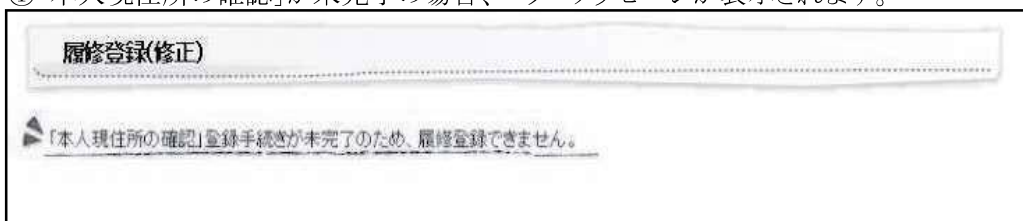
※この時点で 履修登録が完了となります。

履修登録が完了すると、登録番号が表示されま
す。
履修登録完了画面では、右上の[印刷する]ボタ
ンをクリックすることで、ブラウザの印刷画面が表示
されます。
履修登録完了後の控えとして、履修に関する問い
合わせの際「根拠資料」になりますので**必ずプリン
トアウトしてください。**
問い合わせには、出力した用紙に「登録番号」「学
籍番号」「氏名」が記載されていることが必要です。

※履修単位の上限については、
カリキュラム・学科によって異なります。

(8) 履修登録ができない場合は・・・

①「本人現住所の確認」が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。



②履修登録を行うためには、「本人現住所の確認」をしてください。

③メニュー画面から「住所の変更/確認」をクリックします。タブおよびサイドメニューから選択できます。



12 履修確認について

- (1) 学生ポータルサイトで履修登録状況を確認すること。確認日程等は5ページを参照のこと。
- (2) **履修登録の内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルサイトで修正すること。**
- (3) 履修登録は履修番号に基づき行っている。履修番号を誤って登録すると、エラーが表示されるか、全く別の授業科目が登録されるので、登録されている授業科目名・クラス・担当者を確認すること。

13 履修確定について

- (1) 学生ポータルサイトで履修登録状況を確認すること。日程等は学生ポータルで掲示する。
- (2) 履修登録(修正・変更を含む)期間では、**自分の登録画面(11 履修登録の入力方法(7)の画面)を必ずプリントアウトし、いつでも確認できるようにすること。**
- (3) 用語の説明
 - ①正規履修 → 所属する学部・学科で開講している科目を初めて履修登録する場合の登録種別。在学年次授業科目の場合は、指定したクラス分に従い履修登録すること。低学年次の授業科目の場合は、クラスを選んで履修登録すること。
 - ②再履修 → 一度履修した授業科目のうち、不合格(不可または未評価)になった授業科目を再度履修する場合の登録種別。
 - ③他学科履修 → 所属する学科以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他学科履修登録単位数にも加算する。
 - ④他学部履修 → 所属する学部以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他学部履修登録単位数にも加算する。

14 授業について

本学では授業に関するさまざまな情報を学生ポータルサイトにて開示している。授業を受講するにあたっては、次の事項について把握すること。

(1) 授業の内容を知るには・・・

Webシラバスを活用すること。Webシラバスには教育目的・各回の内容・受講上の注意事項などが記載してある。

(2) 授業の開講に関する情報は・・・

- ◇ 授業が休講になる場合は、休講掲示及び学生ポータルサイトの「休講情報」にて伝達する。
- ◇ スマートフォンからも確認することができる。

http://kyuko2.nodai.ac.jp/portalsv3_p/kyuko.do

- ◇ 休講となった授業の補講については、授業中における担当教員からの指示または掲示板において周知するので確認すること。
- ◇ 授業の教室を変更する(した)場合は、学生ポータルサイト及び掲示板に掲載する。

(3) 先生方に質問や相談をしたい・・・

授業に関する質問や相談は授業中に行うのが原則であるが、次の方法で行うことも可能。

- ◇ オフィスアワーを確認して研究室などを訪ねる。
オフィスアワーとは、教員が学生の相談を受け付ける時間を設定すること。各教員のオフィスアワーは学生ポータルで確認することができる。

(4) より良い授業にするために・・・

本学では、学生に対して質の高い授業を保証するために、前学期と後学期に「学生による授業評価および学修時間アンケート」を実施している。なお、実施の方法については、学期毎に学生ポータルサイトに掲示する。

(5) 授業のことで困ったら・・・

- ◇ 授業に対して意見がある場合は、第二講義棟1階ラウンジに置いてある「授業に意見」という用紙を用いて提出することができる。これは日ごろ授業を受けていて感じることを、改善してほしいと願っていることを発言するためのものである。
- ◇ 履修登録および評価に関する質問・相談等は、学生教務課窓口で受け付ける。
※電話・メールでは受け付けていないので注意すること。
- ◇ 大学への要望・提案および授業・研究室、学生生活上の悩み等は、メールで受け付ける。
※情報管理は充分配慮する。所属学科名と学籍番号を必ず記載すること。

取扱い責任者： 東京農業大学 副学長 E-mail g-center@nodai.ac.jp

15 試験について

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行う。授業科目によっては、レポートに代える場合がある。授業に出席し授業担当者の指示にしたがうこと。

(1) 受験資格

- ① 当該授業科目を履修登録していること。
 - ② 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること(原則として授業日数の2/3以上の出席が必要)。
 - ③ 当該学期までの学費、その他の納付金を納入していること。
- ※ 休学期間中に試験を受けることはできない。

(2) 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験である。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板・学生ポータルサイトに発表する(実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しない)。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日(試験時間割発表時に掲示)までに欠席の事由(当日の状況など)を証明する書類を持参し、試験欠席の手続きを行うこと。この届出により、追試験の受験を認める。 **※欠席事由と添付提出書類は次のとおり。**

欠席事由	提出書類
病気	医師の診断書(試験当日の健康状態を記載のものに限る) または病院の領収書(日付及び氏名が記載されたもの)
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引(三親等までの親族の死亡)	死亡に関する書類(会葬通知等)
就職試験等	就職活動証明書(キャリア課で証明を受けること) ※事由によっては証明が受けられない場合がある。必ず試験前、早めに窓口で確認すること。なお、 <u>企業説明会は認められないので注意。</u>
災害(水害・火災等)	官公庁による被災証明書

(3) 定期試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間。通常の授業時間とは異なるので注意すること。
- 学生証を所持していない学生は受験できない。なお、当日忘れた場合は、学生教務課にて仮学生証の発行を受けること(有料 500円・当日限り有効)。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出ること。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとする(試験開始後は退場できない)。
- 試験場または受験科目・授業担当者の間違い、もしくは無記名答案は受験しても無効となる。
- 答案は白紙であっても必ず提出すること。
- 不正行為が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効(未評価)とする。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。
- その他試験に関しては関係窓口へ問い合わせること。

【試験時間】

授業時限	試験時限	試験時間
1時限	1時限	9:00～ 9:45
	2時限	10:00～10:45
2時限	3時限	11:00～11:45
	4時限	12:00～12:45
3時限	5時限	13:00～13:45
	6時限	14:00～14:45

授業時限	試験時限	試験時間
4時限	7時限	15:00～15:45
	8時限	16:00～16:45
5時限	9時限	17:00～17:45
5・6時限	10時限	18:00～18:45
6時限	11時限	19:00～19:45

(4) 追試験

定期試験またはそれに代わる試験をやむを得ない事由(※「(2)定期試験」を参照のこと。)により、受験できなかった場合に、その根拠書類とともに所定期間内に申請し、追試験期間中に試験を受けるもの。追試験の実施方法は、試験開始1週間前に学生ポータルサイトまたは掲示板にて掲示するので確認すること。

※ 追試験を欠席した場合の再度の試験は行わない。

16 成績相談について

各学期に履修した授業科目の評価(成績)については、学生ポータルサイト上で確認すること。この成績に関して質問がある場合は、成績開示後の成績相談日(通常授業と同曜日・同時限・同教室で実施)に出席し、授業担当者に直接指導を受けること。

なお、この成績相談は、評価の変更を目的として行うものではなく、今後の学習を進めるうえでどのような点に留意する必要があるのか、どのような点が理解できなかったのかを確認するために行うものである。この制度の主旨を理解のうえ出席すること。

事前に所定用紙に記入して持参すること。

17 成績評価とGPAについて

(1) 成績評価

「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格。成績評価の基準は、次のとおり。

【成績評価基準のガイドライン】

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績(履修者の5%以内)
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

※ 成績評価基準は、全体の得点を鑑みて、評価を調整することがあります。

(2) GPAについて

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出している。

① GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とする。

したがって、他学科・他学部聴講科目などは含め、リメディアル教育科目、教職・学術情報課程及び認定科目は除く。

② GPAの算出方法

【a. 学期ごとのGPAの算出方法】

学期ごとのGPA算出は、次の式による。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1) GPA対象科目で不可(D)及び未評価(F)科目は、分母に含む。

注2) 通年科目は後学期に含めGPAを算出する。

注3) 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出する。

注4) 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しない。

【b. 通算GPAの算出方法】

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づき、その算出は次の式による。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1) 通算GPAは毎学期末に算出する。

注2) 再履修した場合は1科目としてカウントする(ダブルカウントしない)。

注3) 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値で算出する。

18 時間割を参照するうえでの留意事項

(1) 学期表示

- ① 同一時限に開講する科目は横並びに表示している。
- ② 集中授業科目は開講学期に従い表示している。

(2) 科目の種類(区分欄に表示)

必……………必修科目 選必……………選択必修科目 空欄……………選択科目

(3) クラス分け表示

- ① クラス分けのある科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認すること。
- ② 大学の総合教育科目時間割に大文字のA・B・C…でクラス分け表示がある場合は、オープン科目であるので、各自の時間割に合わせて選択し、受講すること。
- ③ クラス分けのない科目は、クラス表示をしない。

(4) 隔週表示

区分欄の前に「隔週」と表示した科目は、1週おきに単独または2科目交互に実施する科目である。実施については掲示及び学科の指示に従うこと。

(5) 集中授業科目について

時間割に日程・時間・教室の記載がない科目については、後日学生ポータルサイト・掲示板に掲出する。

(6) 担当者表示

担当者が複数の科目は備考欄に全担当者の名前を列記していることがある。

(7) 教室表示

- ① 教室欄に2室以上担当している科目は、いずれの教室で実施するかを担当教員または開講学科の掲示板で確認すること。
- ② 実験・実習・演習室は略称表示をしているので、「実験・実習・演習室略号一覧」(※時間割先頭ページに記載)で確認すること。
- ② 教室の場所がわからない場合は、学生教務課で確認すること。

(8) 開講時限・教室等の変更

時間割・教室等は、変更になることがあるので、必ず学生ポータルサイトまたは掲示板を確認すること。

(9) 教職課程科目の時間割

- ① 学科欄に学科名の短縮表示のある科目は、学科指定の科目である。当該学科・学年の学生は必ず指定の時限で履修すること。
※ 再履修者はこの限りではない。各自の時間割にあわせて選択し、受講すること。
- ② クラス欄にアルファベット表示のある科目はオープン科目である。各自の時間割にあわせて選択し、受講すること。

(10) 履修番号欄の「**」は、次の場合に表示している**

- ① 当該時限の前の科目を引続き開講する場合
- ② 後学期において通年科目を表示する場合